

【B年】

降臨節第二主日

慈しみ深い神よ、あなたは悔い改めを宣べ、救いの道を備えるため、預言者たちを遣わされました。その警告を心に留め、罪を捨てての恵みをわたしたちに与え、贖い主イエス・キリストの来臨を、喜びをもって迎えることができまうに、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましよう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第四十章一節から」

- 1 慰めよ、わたしの民を慰めよと
あなたたちの神は言われる。
- 2 エルサレムの心に語りかけよ
彼女に呼びかけよ

苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。
罪のすべてに倍する報いを
主の御手から受けた、と。

- 3 呼びかける声がある。
主のために、荒れ野に道を備え
- 4 谷はすべて身を起し、山と丘は身を低くせよ。
険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。
- 5 主の栄光がこうして現れるのを
肉なる者は共に見る。
- 6 主の口がこう宣言される。
呼びかけよ、と声は言う。
わたしは言う、何と呼びかけたらよいのか、と。
肉なる者は皆、草に等しい。
- 7 草は枯れ、花はしぼむ。
永らえても、すべては野の花のようなもの。
- 8 草は枯れ、花はしぼむが
わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。
- 9 高い山に登れ
良い知らせをシオンに伝える者よ。
力を振るって声をあげよ

良い知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな

ユダの町々に告げよ。
見よ、あなたたちの神

10 見よ、主なる神。

彼は力を帯びて来られ

御腕をもって統治される。

見よ、主のかち得られたものは御もとに従い

主の働きの実りは御前を進む。

11 主は羊飼いと群れを養い、御腕をもって集め

小羊をふところに抱き、その母を導いて行かれる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第八十五編 七十三節

7 主よ、あなたの慈しみを示し わたしたちに救いを与

えてください

8 神の語られる言葉を聞こう 主はその民、聖徒たち、神

に信頼する人に平和を約束される

9 救いは神を畏れる人に近く 栄光はわたしたちの地に

住む

10 慈しみとまことはともに会い 正義と平和は抱き合

う

11 まことに地から芽生え 正義は天から見守る

12 主はみ恵みを注ぎ 地は豊かに実る

13 正義は神のみ前を進み 神の歩む道を備える

使徒書

朗読者 「使徒書はペテロの手紙Ⅱ第三章八節から」

8 愛する人たち、このことだけは忘れないでほしい。主の

もどでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです。9

ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の

実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、

一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたの

ために忍耐しておられるのです。10 主の日は盗人のようにに

やつて来ます。その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、

自然界の諸要素は熱に熔け尽くし、地とそこで造り出された

ものは暴かれてしまいます。11 このように、すべてのものは滅

び去るのですから、あなたがたは聖なる信心深い生活を送ら

なければなりません。12 神の日の来るのを待ち望み、また、

それが来るのを早めるようにすべきです。その日、天は焼け崩

れ、自然界の諸要素は燃え尽き、熔け去ることでしよう。13
しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。

14だから、愛する人たち、このことを待ち望みながら、きずや汚れが何一つなく、平和に過ごしていると神に認めていただけるように励みなさい。15また、わたしたちの主の忍耐深さを、救いと考えなさい。

18わたしたちの主、救い主イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい。このイエス・キリストに、今も、また永遠に栄光がありますように、アーメン。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第一章一節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 神の子イエス・キリストの福音の初め。

2 預言者イザヤの書にこう書いてある。

「見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、

あなたの道を準備させよう。

3 荒れ野で叫ぶ者の声がする。

『主の道を整え、

その道筋をまつすぐにせよ。』

そのとおり、4 洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。5 ユダヤの全地方とエルサレムの住民は皆、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。6 ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。7 彼はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。8 わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」